

2015年国民平和大行進

2015・7・8 (水)

NO. 5

大阪実行委員会ニュース

連絡先：大阪市中央区谷町7丁目3-4 新谷町第3ビル210号室 大阪原水協 TEL(06)6765-2552

通し行進者の皆さん、ありがとう！



大阪8日間の幹線コース・網の目コースの先頭を歩いて、行進参加者、沿道の市民の皆さんを励ましてくださった全国通し行進者の山口逸郎さん（被爆者の声を受け継ぐ映画人の会）、松永洋子さん（静岡年金者組合）。今年の大阪での国民平和大行進は、1日も暑い日がなく、雨や暴風雨の日ばかりでしたが、二人の元気さは、5月6日に東京・夢の島を出発した時と変わらない元気ぶりでした。

山口さんは、「年は83歳ですが、気持ちは38歳で歩いています」と、参加者を笑わせ、「平和行進です」シュプレヒコールを唱和し、参加者をリードしました。松永さんは、東京・夢の島から歩いてきた歩数を「現在、158万歩になりました」と、みんなをビックリさせる健脚ぶりをアピールしていました。すべての市役所前での歓迎集会では、大きな拍手と歓声で迎え入れられたお二人でした。



府内通し行進者11名のみなさん、全員が元気に歩き通し、兵庫県・川西市にバトンタッチされました。11名の中での今年が初参加の方は4名の方です。初めての感想を聞いてみました。

市川慎也さん（けいはん医療生協、29歳）は、「初めて参加して知らないことばかりでした。もっと私たちの世代が国民平和大行進のことを知るべきで、広げていきたいです」の感想。

小玉利生さん（けいはん医療生協・通信労組OB）は、「感動の一言。もう新しい発見があって、クセになりそうです」の印象でした。玉置敏次さん（大阪平和委員会）は、「1日目が大変で、こりゃ8日間歩けるかなあと思いましたが、最後まで歩くことができて感動してます」。遠田悦子さん（新婦人池田支部）は、「最後まで歩けるかどうか、家族が心配してくれましたが、全国通し行進者と一緒に泊まって最後までがんばることができました」と、感想を語ってくれました。